

世界への架け橋となる 物流・情報の拠点を目指して

SDGsが掲げる目標「働きがいも経済成長も」、「産業と技術革新の基盤をつくろう」のゴールへ近づくために、県内で進められている取り組みとは？



今号の表紙
国内外の物流が集約され、空輸・船便で世界中へ運ばれている様子を表現。沖縄に物や情報が集積することで更なる発展を目指します。

沖縄は世界経済を結ぶ結節点！

沖縄がアジアの物流・経済発展の“肝”に!?

飛行機で約4時間圏内に、中国や東南アジアなどの主要都市が含まれる沖縄は、約20億人の巨大マーケットの中心に位置する地理的優位性を有しています。観光地としてだけでなく、様々なビジネスや情報が沖縄に集積することで、更なる発展の可能性を秘めています。

沖縄の玄関口である那覇空港は「国際航空物流ハブ」として、豊富な路線網を活用した物流ネットワークの構築と、拡大する越境EC(国を超えて行われる電子商取引)の需要獲得に向けた取り組みが進められています。また、物流企業やものづくり企業などを県内外から集めて



国際物流特区として強化し、産業や貿易の発展を後押し。沖縄に物流や産業を集約させることで、世界経済の活性化を目指しています。

那覇港総合物流センター

国際物流の拠点化を目指した物流施設。隣接する那覇港公共国際コンテナターミナルと連携して、国内外の貨物の保管、積み替え、検査などを行っており、沖縄の物流の高度化を担っています。

また、県内青果物などへのラベル貼りや梱包などで貨物に付加価値を付け、国内外へ輸出・移出を図っており、さらなる貨物増大に取り組んでいます。



国際物流拠点産業集積地域(うるま・沖縄地区)

「国際物流拠点産業集積地域(国際物流特区)」は、沖縄だけに認められた特区制度。国税や地方税の優遇措置や、初期投資軽減のための賃貸工場の整備も行われており、近年では半導体や医療機器など、新たな分野の企業立地も進んでいます。

沖縄ー天津梁パーク

日本とアジアを結ぶ情報通信関連産業の一大拠点となることを目指したエリア。ソフトウェア開発や情報サービス関連の企業が集積しています。



アジアをはじめとする 世界をつなぐビジネス 交流拠点を形成するためには？

人・モノ・コト・情報を繋ぎ、 世界へ発信中！

沖縄の国際航空物流ハブを活用し、県産品と全国特産品の海外販路拡大を目的に開催される「沖縄大交易会」。日本最大規模の「食」をテーマとした国際食品商談会で、農林水産業者や食品加工業者、国内外のバイヤーが熱心な商談を通して海外マーケットの開拓に取り組んでいます。

また、「ResortTech EXPO in Okinawa」は、IT企業と他産業の展示と、IT企業と他産業のビジネスマッチングの場となる1T見本市。県内IT企業の高次元と県内全産業のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進に取り組んでいます。

日本や世界の経済発展に貢献する交易拠点・沖縄を目指し、人・モノ・コト・情報を繋ぐ取り組みが進められています。



県内外から集まった企業と、海外のバイヤーが出会う場となる「沖縄大交易会」。(写真は第7回沖縄大交易会2019)

TOPICS

県内企業の海外進出を応援

県内には、海外への販路拡大を目指している県内企業に対し、独自のネットワークを活かして企業活動をサポートしている会社があります。その一例をご紹介します。

ブルームーンパートナーズ株式会社

国内だけでなく、アジアを中心に海外にもパートナー企業や、各分野の専門家の人的ネットワークを持つブルームーンパートナーズ。ビジネスコンサルティングをはじめ、海外展開の支援やブランディング、時には企業と企業をつなぎ、事業展開を後押しする役割を担っています。

また、海外展開支援プロジェクトの一つとして、情報収集や現地視察を行い、海外挑戦を経験した各社の成功や失敗の分析、海外進出の成功率を上げるための現地の勉強会などにも力を入れています。

株式会社新垣通商

アジアを拠点として貿易を行っている地域商社。香港や台湾、シンガポールに現地法人を有し、伊是名島産早摘みもずくや、琉球黒糖・琉球泡盛・シークワーサーなどの特産品を販売することで沖縄の魅力を積極的に発信しているほか、日本各地の逸品を世界に向け輸出しています。

また、海外の消費者ニーズや最新のトレンドを把握し、リサーチに基づいて海外進出を目指す県内企業を応援。二人三脚で海外視点における新商品開発を支援し、販売へと昇華させています。

